

<宛先> 各地区溶接技術検定委員会委員長
(北海道地区) 田沼吉伸 殿 (東北地区) 中村 満 殿
(東部地区) 中込忠男 殿 (北陸地区) 富田正吾 殿
(中部地区) 鈴木実平 殿 (関西地区) 平田好則 殿
(中国地区) 篠崎賢二 殿 (四国地区) 小原昌弘 殿
(九州地区) 秋山哲也 殿



評価試験等におけるコロナウイルス感染対策についての連絡

拝啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は当協会格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、今般、新型コロナウイルス感染者が国内で確認され、感染の増加が想定されていることを踏まえ、当協会の溶接技能者評価試験や外国人技能評価試験を実施するのにあたり、以下のような感染防止対策に努めて頂きたいと存じます。また、今後受験予定者に感染者や感染の疑いがある者が生じた場合の対応も示させていただきます。各指定機関にもご連絡の上、よく連携をとってご対応ください。

以上、宜しくお願い申し上げます。

記

1. 努めて頂きたい感染防止対策 (厚生労働省から外国人技能評価試験の試験機関向けに発信されたメール連絡文に基づく)

- ・各種評価試験はもとより、会議など大勢の方が集まる機会にも用いてください。

(参考 - 厚生省特設 HP : https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html)

(1) 手洗いの徹底

ドアノブなど様々なものに触れることにより、自分の手にもウイルスが付着している可能性があるため、頻回に流水と石鹸、アルコール消毒液による手洗いを実施する。特に、出勤時、外出先からの戻り時及び食事前等には、手洗いを徹底する。

(2) 咳エチケット

くしゃみや咳が出るときは、飛沫にウイルスを含んでいるかもしれないため、咳エチケットに心がける。咳やくしゃみの際は、マスクを着用するか、ティッシュなどで鼻と口を覆い、とっさの時は袖や上着の内側で覆い、周囲の人から顔をそむけ、できる限り離れる。

(3) マスクの着用等

対人距離の確保等 (できるだけ2メートル程度の距離を保持することが望ましい。また外出に当たっては、人ごみを避けることが望ましい。) が望ましいが、対人距離の確保等が困難な場合は、マスクを着用する。

また、事務室内には次の例文を掲示する等の方法によって、職員のマスク着用に関して来所者の理解が得られるよう努める。

例文 「咳エチケットの観点から、職員はマスクを着用するようにしております。御理解と御協力をお願いします。」

(4) 試験実施に当たっての対応

来所者が利用できるよう、入口などにアルコール消毒液や除菌ウェットティッシュを設置する。

■ 職員の日常業務については、総務課からのメール連絡 (2020年2月20日) に従ってください。

2. 感染者、感染の疑いある者、感染を避けたい者が生じた場合の対応

新型コロナウイルスは「天災」とします。「要領-W0 認証-006 (改 10)」－「9 天災時の取扱い」に則り、適宜対応してください。感染者だけでなく、感染の疑いがある者、感染を避けたい者も同様です。

なお、感染拡大の防止を優先するため、各種要件を適用するにあたっての証明書については、医療機関からの正式な診断書までは不要とし、所属企業や本人の作成した申出書のみで良いものとします。診断書入手の手間や費用を躊躇し、感染者が無理をおして受験するのを控えてもらう意図です。このため場合により、受験料返却等を目的に一部虚偽の申し出が混ざっているかもしれませんが、受付時には判別できないためやむを得ないものとします。